

東京工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	Grammar&WritingIV	
科目基礎情報							
科目番号	0032		科目区分		一般 / 必修		
授業形態	授業		単位の種別と単位数		履修単位: 1		
開設学科	情報工学科		対象学年		2		
開設期	後期		週時間数		2		
教科書/教材	『27スコープ英文法』5訂版(数研出版)、『スコープワーク27』新訂版(数研出版)、『Forest総合英語』7版						
担当教員	樫村 真由						
到達目標							
1. 中学校で既習の文法事項や構文を理解し、活用・運用することができる。 2. 高等専門学校に入学後学習した文法事項や構文を理解し、活用・運用することができる。 3. 本授業で新たに学習する文法事項や構文を理解し、活用・運用することができる。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		準動詞を理解し、各種演習問題を解いたり、英文を適切に読み解くことができる。		準動詞を理解し、基本的な演習問題を解き、平易な英文を適切に読み解くことができる。		準動詞を理解できず、基本的な演習問題において正答を導き出すことができない。	
評価項目2		様々な比較の表現、種類、用法、意味を理解し、各種演習問題において、使い分けることができる。		様々な比較の表現、種類、用法、意味を理解し、基本的な演習問題において、使い分けることができる。		様々な比較の表現、種類、用法、意味を理解できず、基本的な演習問題において、使い分けることができない。	
評価項目3		関係詞の表現、用法、意味を理解し、各種演習問題において、使い分けることができる。		関係詞の表現、用法、意味を理解し、基本的な演習問題において、使い分けることができる。		関係詞の表現、用法、意味を理解できず、基本的な演習問題において、使い分けることができない。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要		概要 1. 中学校およびGrammar & Writing I, IIで既習の文法事項や構文を理解し、英語使用の場面において活用できる。 2. 高等学校学習指導要領に示されているレベルの文法事項や構文を理解し、英語使用の場面において活用できる。					
授業の進め方・方法		授業の進め方と授業内容・方法 1年次に使用した教科書を使い、英文法のおさらいをするとともに、演習問題などを通じて、英文法の知識や理解を更に深め、簡単な英作文ができるレベルにまで引き上げる。授業の最初1/3ほどは前週の宿題の答え合わせ、解説等を行い、その後、その日のターゲットとなる英文法の項目の要点をおさらいし、最後の1/3弱は問題演習の時間とする。ただし、受講者の状況に応じて、進度や授業の進め方を途中で見直すことがある。					
注意点		注意点 授業には、1年次のGrammar & Writing I, IIで使っていた教材+本年度新しく購入したワーク、英和辞典、ノート (A4)、ファイルを毎回必ず持ってくる。指定された宿題は必ず行い、授業に臨むこと。					
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	授業ガイダンス、Lesson 16: 動名詞 (1) 復習		本授業で網羅する予定の文法項目や授業の進み方を確認、理解し、英文法学習について必要な基礎知識の問題演習で、自分自身の現段階での到達度を測ることができる。動名詞の基礎を復習し、用法、意味を理解し、その知識を練習問題で活用・運用することができる。		
		2週	Lesson 17: 動名詞 (2) 復習		動名詞を復習し、用法、意味を理解し、その知識を練習問題で活用・運用することができる。		
		3週	Lesson 18、19: 分詞 (1)、(2) 復習		分詞を復習し、用法、意味を理解し、その知識を練習問題で活用・運用することができる。		
		4週	Lesson 19、20: 分詞 (2)、(3) 復習		分詞を復習し、用法、意味を理解し、その知識を練習問題で活用・運用することができる。		
		5週	Lesson 21、22: 比較 (1)、(2) 復習		比較の表現を復習し、用法、意味を理解し、その知識を練習問題で活用・運用することができる。		
		6週	Lesson 22: 比較 (2)、EL. 2:比較復習		比較の表現を復習し、用法、意味を理解し、その知識を練習問題で活用・運用することができる。		
		7週	今までの単元のおさらい、ライティングへの応用		既習の単元の表現に焦点を当てた英語使用の活動において、学習した事項をライティングに活用できる。		
		8週	中間試験		これまでに学習した内容を理解していることとその知識を運用し英文を作成したり、日本語訳を行うことができることを試験において示すことができる。		
	4thQ	9週	Lesson 23、24: 関係詞 (1)、(2) 復習		関係詞の表現復習し、用法、意味を理解し、その知識を練習問題で活用・運用することができる。		
		10週	Lesson 24、25: 関係詞 (2)、(3)		関係詞の表現復習し、用法、意味を理解し、その知識を練習問題で活用・運用することができる。		
		11週	EL. 3:関係詞復習		関係詞の表現復習し、用法、意味を理解し、その知識を練習問題で活用・運用することができる。		
		12週	Lesson 26: 仮定法 (1) 復習		仮定法を復習し、用法、意味を理解し、その知識を練習問題で活用・運用することができる。		
		13週	Lesson 27:仮定法 (2) 復習		仮定法を復習し、用法、意味を理解し、その知識を練習問題で活用・運用することができる。		
		14週	EL.4:話法		話法を復習し、用法、意味を理解し、その知識を練習問題で活用・運用することができる。		
		15週	半期の授業での総括を行いつつ、昨年度までに履修したGrammar and Writng IVを概観する。		Grammar & Writing I~IVを概観し、自身の英文法学習の課題を立てることができる。		
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標				到達レベル	授業週
評価割合								
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計	
総合評価割合	60	0	0	20	0	20	100	
基礎的能力	60	0	0	20	0	20	100	
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0	
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0	